

令和4年度第2回花巻市地域自治推進委員会 会議録

1 開催日時

令和5年3月20日（月）午前10時00時～午前11時14分

2 開催場所

花巻市役所3階 302・303会議室

3 出席者

(1) 委員（出席12名、欠席2名）

区 分	団 体 等	氏 名	出欠
第1号委員 公共的団体 から推薦さ れた者	花巻市認定農業者協議会会長	川村 厚	出席
	花巻市商店街振興組合協議会会長	佐藤 良介	出席
	花巻温泉郷観光推進協議会副会長	清水 隆太郎	欠席
	花巻地域交通安全母の会連合会	城守 友子	出席
	花巻市区長会 (花巻中央地区)	小山田 雅一	出席
	花巻市区長会 (矢沢地区)	川村 憲一	出席
	花巻市区長会 (宮野目地区)	佐藤 勇人	出席
	花巻市区長会 (太田地区)	伊藤 盛康	欠席
第2号委員 学識経験を 有する者	前花巻市保健推進委員	千葉 秀子	出席
	花巻市民生委員児童委員	伊藤 澄枝	出席
	男女共同参画推進員	小笠原智恵子	出席
	主任児童委員	永井 ミナ子	出席
第3号委員 公募委員		菅原 元	出席
		吉田 優子	出席

(2) 事務局（3名）

藤井地域振興部長、鈴木地域づくり課長、小原地域づくり課地域振興係長

(3) 説明員（4名）

岩間総合政策部長、富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長、村田総合計画策定室次長、川村総合計画策定室主査

4 傍聴者 0名

5 次第

(1) 開会【鈴木地域づくり課長】

(2) 挨拶【川村会長】

(3) 会長・副会長の選出

(4) 審議

第2次花巻市まちづくり総合計画の策定状況について【説明：富澤秘書政策課長】

(5) 閉会【鈴木地域づくり課長】

6 議事録

鈴木地域づくり課長 それでは、ただいまから令和4年度第2回花巻市地域自治推進委員会を開会いたします。始めに川村会長よりご挨拶をお願いいたします。

川村会長 皆さんおはようございます。この地域自治推進委員会も第2回ということになりました。今日は長期的なことについて審議をしていただくということで、皆さんにお集まりいただきました。住みよい街というか、そういうのをみんなで作り上げていこうという。気持ち市の方から十分伝わってきますので、一つ皆さん十分審査の上、ご協力よろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

鈴木地域づくり課長 ありがとうございました。

それでは早速ですが、次第の3、審議に入らせていただきます。花巻市地域自治推進委員会条例第4条第2項に会長は会議の議長となると規定しておりますことから、以降の進行につきましては川村会長をお願いいたします。

川村厚会長 はい。それでは次第の3、審議に移ります。本日審議いただく案件は、お手元の次第にあります1件でございます。今日は、現在市が進めております第2次

花巻市まちづくり総合計画の策定状況について、担当部より説明をいただき、その後委員の皆様からご意見をいただき、そのように進めてまいります。

本日の説明のために出席いただいたのは、岩間総合政策部長、富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長、村田総合計画策定室次長、川村総合計画策定室主査であります。

それでは第2次花巻市まちづくり総合計画の策定状況について、担当の総合政策部からの説明をお願いします。

鈴木地域づくり課長 事務局から補足の説明を申し上げます。本日は、当委員会に対する諮問・答申というスタイルではなく、第2次花巻市まちづくり総合計画の策定に係る経過の報告、令和4年度の間接報告の意味合いを持っております。答申をお願いするものではございませんので、よろしくお願い申し上げます。

岩間総合政策部長 総合政策部長の岩間と申します。本日は貴重なお時間をいただきまして、現在策定作業を進めております第2次花巻市まちづくり総合計画について説明をさせていただきます。

自治体のまちづくりのための総合計画につきましては、以前は法律で策定が義務づけられ、また議会の議決を経るということも義務づけられていたというものでございますけれども、地方分権の進展に伴いまして、平成23年の5月に地方自治法が改正されまして、計画の策定自体、それからその計画を策定した場合に議会の議決を経るかどうかということについても自治体の判断に委ねられるということになりました。

花巻市におきましては、現在進めております花巻市まちづくり総合計画の長期ビジョンを平成25年度に策定したわけですが、市民の皆様とともにまちづくりを進めていくという観点から総合計画を策定するということを決めまして、また議会の議決も経るということで進めてきたところでございます。現在、その計画について様々な取組を進めておりますけれども、次期総合計画は来年度つくるということになりませんが、その計画につきましても策定すること、また議会の議決を経ることということで進めさせていただきたいという考えでおります。

本日、ご説明いたします新たな総合計画につきましては、「次期花巻市総合計画策定の基本方針」を作成いたしまして、今年度前半に花巻市総合計画審議会のほか、昨年5月20日に当委員会からもその方針案を可とするということでの答申をいただいたところでございまして、その方針に基づいてこれまで策定作業を進めてきております。

本日は、2点についてご説明いたしますが、1点目は、本年度におけるこの策定の取組についてのご報告、2点目は、第2次花巻市まちづくり総合計画の骨子（案）をお示しし、これについて皆様からご意見をいただければと思っているところでございます。それでは総合計画策定室より詳しくご説明いたします。若干説明が長くなるかと思いますがよろしく願いいたします。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 改めまして総合計画策定室長の富澤と申します。どうぞよろしく願いいたします。

ただいま部長が申し上げましたとおり、第2次花巻市まちづくり総合計画の策定状況についての1点目、令和4年度の取組状況についてご報告をさせていただきます。着座にて説明させていただきます。

資料No.1の1ページ、1の次期花巻市総合計画策定の基本方針につきましては、昨年5月20日に当委員会で、場所は文化会館だったでしょうか、この方針の原案について、異議がない旨の答申をいただいておりますので、説明は割愛させていただきます。

市民参画の状況は、これまでにまちづくり市民ワークショップ、関係団体等意見聴取、市民意識アンケート調査を実施してまいりました。

資料No.1の1ページの(1)、まちづくり市民ワークショップ、こちらは23歳以上の市民の皆様で構成した一般部門と、高校生から22歳までの市民の皆様で構成した若者部門の2つの部門を設けまして、資料は2ページになりますけれども、一般部門が7回、若者部門が3回の、合わせて10回のワークショップを開催いたしました。

ワークショップの開催状況につきましては、参考資料として添付しておりますけれどもニュースレターにそれぞれ開催状況を掲載してございます。

また、ニュースレターとは別に、全ての回の実施状況をまとめた報告書を現在作成しているところでございまして、今月中に市のホームページや各振興センター等への資料配置により公表する予定としてございます。

2ページ(2)の関係団体等の意見聴取でございしますが、次期総合計画の策定に当たり、それぞれの分野において専門的な見地からご意見を伺うことを目的に、10団体等と意見交換の形で実施いたしました。

意見聴取状況につきましても、現在報告書として取りまとめをしているところでございまして、完成次第、公表させていただく予定としております。

次に3ページ(3)、市民意識アンケート調査につきましては、現総合計画に掲げる21の政策の満足度や重要度、市の人口減少対策などについて伺ったところです。アンケート調査結果につきましては、昨年の6月から7月にかけて2,500人の市民を対象に、859人、34.4%の回答をいただいたところです。

集計結果につきましては、参考資料として添付いたしておりますけれども、広報はなまき、花巻市のホームページ等で掲載してございます。

次に3ページの3、庁内の取組状況でございますけれども、(1)の策定体制として、副市長を委員長とする花巻市総合計画策定委員会を設置いたしまして、その委員会の中に政策関係部長および課長によって構成する総合計画策定部会を設置いたしました。その事務局を総合計画策定室としたところでございます。

また、次期総合計画の策定に当たっては、現在の総合計画の評価を行うことが不可欠であると捉えておりました、(2)の現総合計画の評価として、毎年実施しております行政評価の結果をもとに、これまで実績が確定しております平成26年度から令和3年度までの、21の政策と72の施策の全てについて内部評価を実施したところでございます。

この評価結果につきましては、本日抜粋版としてお配りしておりますけれども、後ほど概要をご説明いたします。

4ページをお開き願います。(3)の次期総合計画を構成する政策・施策等の内部検討でございますが、現総合計画の見直しを行い、次期総合計画に掲載する政策・施策の検討を行うとともに、これまでの市民参画でのご意見を参考にしながら素案の作成を進めております。

参考に令和5年度につきましては、調整した長期ビジョンの素案をもとに、できるだけ早い時期に地域説明会を開催して市民の皆様からご意見をいただき、さらにそのご意見を検討した上で、市議会議員の皆様をはじめ花巻市総合計画審議会、各地域協議会、そして当花巻市地域自治推進委員会への説明を行う予定としてございます。その上で長期ビジョン素案のパブリックコメントを令和5年の6月をめどに実施いたしまして、最終案を調整した上で7月から8月頃に花巻市総合計画審議会等への諮問・答申を経て、市議会9月定例会へ長期ビジョン案として上程することを目指して作業を進めてまいります。

また、長期ビジョンに基づき実施する事業等を掲載するアクションプランにつきましては、長期ビジョンとは別に、改めて花巻市市民参画・協働推進委員会において市

民参画の方法について評価をいただいた上で、適切に市民参画を行うとともに、市議会議員の皆様への説明のほか、花巻市総合計画審議会等への諮問・答申を経て来年度、令和5年度内の策定を目指すこととしております。

本日お配りしております現計画の評価報告書につきまして、少しご説明をさせていただきたいと思っております。

村田総合計画策定室次長 総合計画策定室の村田と申します。よろしくお願ひいたします。郵送とは別に皆様のお手元に本日お配りしております資料「花巻市まちづくり総合計画に係る政策及び施策の評価報告書」、青枠で抜粋版と記載されている資料でございますが、こちらの概要についてご説明をさせていただきます。申し訳ございませんが座ってご説明をさせていただきます。

こちらの資料の1ページをお開きいただきたいと思います。この報告書の概要でございますが、1点目の趣旨につきましては、第2次花巻市まちづくり総合計画の策定に先立ち現在の総合計画の総括を行うことを目的に評価を実施したところでございます。2点目の評価の実施方法につきましては、現在の総合計画に位置づけております21の政策それから72の施策がございまして、こちらの全部について、それぞれの政策や施策を担当する部署において内部評価という形で実施いたしました。評価につきましては、計画期間のうちの平成26年度から令和3年度までの8年分という形で実施してございます。

この報告書につきましては、担当部署による評価をした後に花巻市まちづくり総合計画策定の庁内組織であります花巻市総合計画策定委員会での検証を経て作成したものでございます。先週完成したということで、3月17日に市のホームページに公開したところでございましたので、本日の資料の配布とさせていただいたところでございます。

3ページから4ページにかけては、現在の総合計画に位置づけた21の政策と72の施策を一覧の形で掲載してございます。

続いて5ページをご覧いただきたいと思います。はじめに政策の達成状況についてです。評価の対象となりましたのは、21の政策のうち成果指標が揃った19の政策について、グラフの形で表したものでございます。こちらの評価でございますが、同じ5ページの下段の表に評価基準の説明がございましてけれども、それぞれの政策で設定いたしました成果指標について、半数以上の指標が達成率90%以上になったもの

がA・B・Cでございます。こちらが7割を超える14政策ということでございます。

続いて6ページをお開きいただきたいと思います。ここでは21の政策につきまして、こちらを5つのまちづくり分野に分類しているところでございます。分類別ではそれぞれの成果指標のうち半数以上の指標の達成率が90%以上というA・B・Cを合わせた割合といたしましては、この6ページの帯グラフでございますけれども、分野2の「暮らし」ですが、こちらは100%、それから分野1の「しごと」が75%、分野3の「人づくり」が60%という形になってございます。

続いて7ページをお願いいたします。政策に基づく施策についての達成状況でございます。こちら先ほどの政策と同様でございますが、こちらの成果指標の達成度につきまして、令和3年度の実績に基づいてA・B・C・Dの判定をしているところでございます。この72の施策のうち成果指標の設定の対象外となった7施策を除いた65施策でまとめております。それぞれの施策の成果指標のうち半数以上の指標の達成率が90%となっておりますグラフのA・B・Cの合計につきましては、41の施策で63.1%という割合の結果でございます。

続いて8ページをお願いいたします。政策と同じようにこの72の施策につきましても5つのまちづくり分野に分類したところでございますけれども、それぞれの施策の成果指標のうち半数以上の指標の達成率が90%以上となりましたA・B・Cを合わせた割合の高い分野といたしましては、帯グラフの中の分野1の「しごと」が83.4%、分野2の「暮らし」が68%という形になってございます。

駆け足の説明で大変申し訳ございませんが、続いて9ページをご覧いただきたいと思います。9ページ以降につきましては、先ほど5つのまちづくり分野がございましたが、その分野ごとに評価結果を文章の形でまとめた概要のページとなっております。

9ページの①「しごと」分野につきましては、農林業、商工業、観光、それから雇用環境などを領域とする分野となっております。こちらの文章表記の頭に「・」がついておりますけれども、この「・」の2つ目には政策の主な成果について、それから「・」の3つ目には、施策の主な成果を記載してございます。「・」の4つ目と5つ目につきましては、成果指標が達成できなかった政策・施策について触れてございます。そして最後には市民意識アンケート調査結果の傾向と今後の取組の課題などについて記載してございます。

こういう掲載のし方をしたものが以下続いておりまして、10ページになりますけれども、こちらでは②の分野としまして、環境保全、各種インフラ、防災、消防、市民生活、福祉、健康づくりを領域といたします「暮らし」分野について、続いて11ページには③といたしまして、子育て支援ですとか学校教育、生涯学習、スポーツ、芸術文化が領域となります「人づくり」の分野、それから11ページの下の方には④としまして地域づくり、市民参画、協働、男女共同参画とを領域とする「地域づくり」分野、12ページには最後⑤といたしまして、行政運営と財政運営が領域となります「行政経営」分野のそれぞれにつきまして、先ほど「しごと」分野でご紹介したような形で政策・施策の達成あるいは達成できなかった政策・施策、今後の取組の課題という形で記載をしてございます。内容につきましては後ほどご覧いただければ幸いに存じます。

本日お配りいたしました資料は第1章のみの抜粋という形にしてございます。この報告書につきましては、個別の政策・施策についての評価が続きます、全体といたしましては、210ページ程度の内容となっております。今日は概要という形で抜粋の形にいたしましたけれども、詳細につきましては先週公開いたしました市のホームページでも公開しておりますし、また今月中にはそれぞれの振興センターですとか、市役所など市民の皆さんが目に触れる場所にも配置をしてご覧いただけるような環境を作っていきたいと思っておりますので、そちらでもご覧いただければ幸いに存じます。

こちらの概要につきましては説明を終わらせていただきまして、次に、新しい総合計画の長期ビジョンの骨子（案）につきましてご説明をさせていただきます。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 着座にて説明させていただきます。次期総合計画長期ビジョンの骨子（案）を作成しております。長期ビジョン素案の作成に当たりまして、長期ビジョンを構成する骨組みをあらかじめ定めた上で必要な事項を盛り込んでいくというような観点から、長期ビジョンの骨子（構成）の案として、資料は資料No.2と資料No.2参考資料がございます。

長期ビジョン案につきましては、花巻市総合計画審議会をはじめ、各地域協議会、そして本日の花巻市地域自治推進委員会への諮問を行い、答申をいただく予定としております。その策定過程のこの骨子について、当委員会にご説明する必要があるという判断でございます。この骨子案につきましては、花巻市総合計画審議会及び各地域協議会と当委員会にご説明をした上でご意見をいただいて、決定した後に公表する予

定ということで考えてございます。資料No.2 参考資料につきましては、現在の総合計画と次期総合計画の構成案の比較表として捉えていただきたいと思います。

それでは資料No.2、はじめに序論として計画策定の趣旨、役割、計画の期間、計画の構成、計画の推進の考え方について、第2次花巻市まちづくり総合計画の基本的な事項をお示しする内容としております。

次に第1章理念でございますが、今回新たに章立てを行うもので、まちづくりを進めるに当たっての基本的な考え方と、総合計画と持続可能な開発目標、SDGsとの関連性をお示しする内容としております。

第2章花巻市まちづくり総合計画の評価でございますが、この章も今回新たに章立てを行いまして、現総合計画における取組の成果と今後の課題について掲載し、現総合計画の総括を踏まえて次期総合計画を策定しようというものでございます。

第3章まちづくりの視点につきましては、まちづくりを進めるに当たり考慮しなければならない重要な視点として、本市を取り巻く社会情勢、本市の特性、人口見通し、財政運営と土地利用の基本的な考え方について記載する予定としております。

資料2 ページ、第4章将来都市像につきましては、目標年次として設定する8年間の計画期間の最終年度となる令和13年度におけるまちの姿と将来都市像、その考え方について記載するものでございます。

第5章まちづくりの基本方向につきましては、次期花巻市総合計画策定の基本方針でお示したまちづくりの6つの分野、「しごと」、「暮らし」、「健康・いのち」、「子育て・人づくり」、「地域づくり」、「行政経営」について、目指す姿、分野の基本的な考え方、政策項目・具体的推進方策、みんなで取り組みたいことについて記載するものでございます。

第6章重点施策推進プロジェクトは、今回新たに設ける章でございまして、将来都市像の実現に向けて最重要テーマを「人口減少対策」と位置づけまして、第5章の6つのまちづくり分野を横断的に連携して推進する取組を掲載する予定としております。プロジェクトは2つ設けようというものでございまして、1つは「子ども・子育て応援プロジェクト」といたしまして、妊娠、出産、子育ての一連のステージにおいて子どもや子育て世代に対する切れ目のない支援を推進しようとするものでございます。

2つ目は「花巻で暮らそうプロジェクト」といたしまして、結婚や住居対策、定住の促進、中心市街地の活性化、安心して働く場の確保などの支援を推進しようとするものでございます。

最後に参考資料といたしまして、計画策定の基礎的データ、策定方法に関する資料を掲載するものでございます。

通しの説明で長くなりましたが、説明は以上でございます。

川村厚会長 それでは説明が終わりましたので、委員の皆様から意見、質問等発言をお願いしたいと思います。どなたか、まだ時間もありますので順番に一人ずつお願いしたいと思います。

千葉委員 資料を事前に送っていただきましたので、ゆっくりと読み込む時間がありました。丁寧な過程を踏んで検討されていることがよくわかりました。特に私から申し上げることはありません。

感想といたしまして、骨子（案）について、SDGsとの関係やら評価に基づくことの重要性やら、そういったことが盛り込まれて時代に合った構成になったのではないかと思います。特に私から第6章の重点施策である子ども・子育てに関するプロジェクトに大いに期待をしたいなと思っています。異次元の予算ではなくても、子どもファーストで将来の花巻市をつくってほしいと思っています。以上です。

小笠原委員 小笠原智恵子と申します。よろしく申し上げます。私も感想です。丁寧な説明ありがとうございました。今日説明いただいた、達成状況の評価結果の資料8ページのところで、人づくり分野とか地域づくり分野のところが達成できない割合が大きいので、細かいことを知りたいなと個人的に思いました。以上です。

村田総合計画策定室次長 ご意見ありがとうございます。今日お配りした資料の8ページ、施策の達成状況で、人づくり分野と地域づくり分野で青色（各施策で設定した成果指標のうち半数以上の達成状況が達成率90%未満）の割合が高いということで、この要因などについてご説明させていただきたいと思います。

こちらの成果指標の達成状況につきましては、令和3年度の目標に対してどのくらい達成できたかという結果をグラフにまとめた形にしております。それで、この達成状況が低かった要因といたしましては、令和3年度においてはコロナ禍がまだ収束をしていない状況の中で、例えば地域づくり分野の施策の中では、成果指標に振興センターの利用状況とか、コロナ禍に影響するような目標値というものもございまして、施設の利用制限などもあり、思うように実績値が伸びなかったというような施策、そ

れから行事なども開催できないという状況も続いたものですから、そういったところが達成に繋がらなかったという状況はございます。

一方で、コロナ禍の中でも様々な取組は中断しないで続けていたところがございますので、そういったところについては文章による取組の成果などを記載してございます。市ホームページ等で公開する報告書の方で後ほどご覧いただければありがたいと考えているところでございます。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 少し補足させていただきます。政策・施策には数値目標を設定しています。それによって目標が達成できたかできなかったかという評価になるわけですが、その中で具体的に申し上げますと、振興センターの利用人数を指標に設定していたり、市民1人当たりのセンターの利用回数というのを指標として、目標値を持って毎年度取り組んでいるということでございます。結果的にはコロナの影響で施設の利用制限によって利用件数が伸びないですとか、1人当たりの利用回数が伸びないということで評価が低かったという結果がここに出ているということでございます。

永井委員 永井です。よろしくお願ひします。今回ワークショップをされたとお話がありました。また私も社会福祉協議会さんが中心のワークショップを今4回コースでやっていますが、2回目でまちづくり、楽しいまちをどうするのかとか、問題点はどういう感じで、同じようにさせていただいて、自分自身もまちについて確認することができたということ、今回この資料を見させていただいて皆さんやっぱりそういう思いでいらっしゃるんだなっていうのを感じました。

それとSDGsです。いろんなところに行ったときに、あなたのやっているSDGsは何ですかよく聞かれることが多くなってきたので、この取組は本当に正解だと思いますし、これを取り組まなければいけないことではないかなと思います。

あと、資料を見させていただいて、やっぱり少子高齢化っていうのが根本にある。その意味でまちづくりを広げていけないといけないと感じました。感想だけです。以上です。

菅原委員 一般公募の菅原です。事前に資料を送付いただきまして、このまちづくり総合計画のワークショップ、こういうことをやっていたんだっていうことで読ませていただきました。非常に私としてはこういうワークショップのあり方っていいなと思いましたし、たまたま一昨日も定住推進課のイベントがなはんプラザでありまして、市長を交えてのワークショップでした。

やっぱり市の姿勢として、委員からいろんな意見を聞いたり、市の職員の方々も柔軟に意見を聞いたりして、計画についていろいろ考えているんだというふうになんかちょっと感じることがありました。今回もこういった形でホームページに掲載されるということですが、我々市民もそういったところに情報収集できるような意欲を持ってやっていきたいなというふうに一市民として思いました。この流れは非常にいい流れだと私は思いました。ありがとうございました。

吉田委員 同じく一般公募の吉田と申します。写真なども多く、わかりやすい資料をたくさん作って送っていただきまして、見ていてわかりやすくとてもいい資料だと思いました。私の下の子が東京で今度大学4年生になりまして、就職活動も含め岩手に帰ってくるか、東京に残るかというところがフィフティフィフティのような感じですのでけれども、このワークショップの資料で一部気になったところをLINEで娘にも送りまして、もしリモートでも参加できるのであれば参加してみたかったということがあります。東京になるのか他の花巻以外のところになるのかちょっとまだわからないのですが、花巻市と繋がっていたいという気持ちは強くあるようですし、そういう学生が東京にすごく多くいるということでした。

東京の方でも花巻に限らず岩手の方から何かイベントですとかそういうものがあるときは同じ岩手県出身で大学は違いますけれどもお友達を誘って行くなど、そういうことをやっているということも聞いております。今は東京にいますけれども岩手に戻りたいという意思のある学生はたくさんいるという、そういう見解を私は持ちました。

それから今職員の方々の説明を聞いて一つ思ったのが、やはり少子化ということで、高齡化というのはすごく私はいいいことだと思っていて、健康で長生きをできるという、それに関してはすごくとてもいいことだと思うのですが、問題は少子化の方で、なぜ少子化というのが食い止められないものなのか、職員の方々はどのように思われていますでしょうか。それをちょっとお聞きしたいなと思いました。以上です。

岩間総合政策部長 はい。難しいご質問だと思いますが、全国的に言われていることと花巻市もあまり変わらないのかなと思っておりまして、それはまず女性の社会進出で女性が働くということになったことによって、まず晩婚化ということ、それからキャリアを積み積むほど、家庭に入ることの選択をしなくなる傾向が強くなるということ、それから、例えば結婚したとして働いていく上で、子どもを持つとい

う選択をする、しないという部分が出てくること、子どもを持ったとしてその教育等にお金がかかるという実態から、例えば子どもを1人産んで終わる、頑張っても2人、3人目はなかなか難しいというふうに考える方が非常に多くなっているということで、個人の自由というものも尊重されておりますから、当然結婚する、しないという個人の選択も尊重される。子どもを産む、産まないという個人の考えも尊重されるというようなことで、考えが多様化していることが最大の要因ではないかなというふうに捉えております。

ただ、結婚したい、子どもを産みたいというふうに考えている方々がそれを実現できないということについては、行政として改善できる取組というのはしていかなければならないというふうに思っております。

佐藤勇人委員 宮野目地区行政区長の佐藤でございます。私の方も少子高齢化の問題は、昨年幸いにも市の市政懇談会は開催させていただきましたので、その内容に地域としての意見は多分反映されていると思いますので、そちらについては割愛しまして、うちの地域だけの狭い範囲で言いますと、ある地域にメインの道路がございますけれども、昔から使っているところがありますが、そこに沿った家がざっと10年以内にはメインじゃなくなるのではないかなという状況があります。全部が全部じゃないですけども、ざっと見て7、8割ぐらいいなくなるのではないかなというように、後継者がいないのですよ。子どもさんがいないわけじゃないのですけれども、皆東京の方とか、都市部の方に行って、就職して帰ってこないという人がほとんどなので、そういう場合の高齢化というか、リーダーだけじゃなくて、住んでいる方々を表に出してみんなで暮らしやすい状況をつくれるかというところが一番の課題になりそうな気がするのです。少子化についても1行政区の中で、ちょっと人数が間違っているかもしれませんが、小学生が今13人ぐらいたったはずですが、今度一年生が誰もいないというような状況もありまして、非常に少子高齢化が急速に進んでいるのが実態で、それを地域のコミュニティとして今後どのような取組をしていったらいいのかなってというのが一番の課題です。以上です。

川村憲一委員 はい。高松の行政区長の川村といいます。一つお伺いしたいのは、市民意識アンケート調査を実施して回答率が3分の1ぐらいたったということですが、このような調査をしている場合の回答率は、普通は悪くても50%ぐらいでしょうか。そう思うのですが、回答率がちょっと低いなという部分、それだけあまり関心が

なかったりしている部分もあるのかなというふうに思いましたので、通常のアンケートと比較してどうだったのか。

あと、この中で農村の問題が出てきていないような気がします。まちづくりですから、部分的には文字として出てきますけれども、農村の部分がちょっと欠けているかなというふうに思います。

今、やっぱり農村には住みませんよね、佐藤さんが言われたように、農村の部分ではどんどん人が少なくなって離農したり、あるいはもう跡継ぎがいなくて、その家が空き家になっていったりという部分もかなり顕著になってきている。そういう意味では過疎化がどんどん進んでいるという問題がありますから、上の長期のまちづくりの中にそこをきちっと押さえていただいて、対策とかそういうのを進めてもらう必要があるのだらうなというふうに感じました。以上です。

村田総合計画策定室次長 はい。ありがとうございます。はじめにアンケートのことについてお話をさせていただきます。先ほどご意見いただいたとおりでございまして、皆様のお手元の資料の市民意識アンケート調査の概要版というA3の1枚ものの資料でございますが、ここでは2,500人に対して859人ということで34.4%の回答率でして、この数字が多い少ないという部分ですけれども、このアンケートとは別になりますが、毎年市から、まちづくり市民アンケートというものを、4月早々に市民の皆さん、2,500人の方にお送りをして回答いただいています。こちらについては、大体毎年の傾向ですが、4割から5割に近いあたりのところで推移していると記憶してございますので、それに比べますとちょっと少なかったなというようなことは感じております。今回アンケートを配布した2,500人は、別に行ったまちづくり市民アンケートの2,500人と重複はしていませんが、回答率が低かったというところにつきましては、その一つとして同じ報告書の中の、右側に③として花巻市まちづくり総合計画についてどの程度知っていますかという質問について、計画があるということは知っているが内容は知らないとか、全く知らないという方が大半を占めているという状況もございまして、やはりこういった部分で認知度の低さというところもいづらか影響しているのではないかなと捉えているところでして、総合計画を身近に感じていただけるような市の取組というのにも必要なかなというふうに考えているところでございます。

それからもう一点農村部の視点というお話でございまして。市が人口減少対策を最重要テーマとして捉えている中で、今回の骨子では子ども・子育ての部分ですとか、移

住定住というところにスポットを当てた形で策定しようとしているところでございますけれども、やはり全体的な人口減少については大きな課題というふうに捉えているところでございまして、そこに関しては市の政策を横断的に取り組んでいくことによって、農村部を含めたまち全体の人口減少対策という形での取組ができるように検討していきたいと考えているところでございます。

岩間総合政策部長 少し補足をさせていただきたいと思います。まず農村ということではないのですけれども、例えば農林業ということについては今回の意識アンケート調査の結果を見ますと、非常に重要であるというふうに捉えている市民は多い傾向にあります。ただ一方でその農林業に対する市の政策とその結果については満足しているということではなく逆に不満を抱いている方が多いということですので、市の基幹産業である農林業の重要度に沿ったような形で、もう少し市民の皆様がどういうところに不満に感じているのかという部分について、改善していく取組が必要だということが市民アンケートの方からわかったということがございますし、また直接的には農村ということではないのですけれども、その項目の中にある環境の保全ですとか、生活基盤の充実ですとかそういう部分については今村田の方から申し上げましたとおり市の中心部ということではなくて市全体のことを指しておりますので、その部分で農村についても当然ながら含まれるということでございます。

小山田委員 中央地区の区長会の小山田です。よろしく申し上げます。今回の長期ビジョンの骨子でございますけれども、今回重点施策推進プロジェクトという、新たな項目が出てきたわけですが、やはり今回のビジョンではこれが一番の肝になるのかなっていうことをちょっと感じていまして、ここで子ども・子育て応援プロジェクトと、2つほど仮置きでありますけど、今後このプロジェクトの取扱いはどうなっていくのかっていうところを教えてくださいたいと思います。

それと、現時点で将来像の具体的な目標はないわけですが、例えば今回お示しいただいた行政評価の結果で企業のデジタルトランスフォーメーションの支援、あるいは自治体のDXですか、その推進について課題の認識を示されているようですので、例えばこれもプロジェクトの中に入ってくるのか、あるいはまちづくりの基本方向の中だけとかですね、その辺のことをお答えできるのであれば教えてください。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 ありがとうございます。後のDXの方からお答えしますが、国を挙げてデジタル田園都市国家構想ということで、また自治体の花巻市もそれに取り組んでいくというこの流れというのは、人口減少対策が大きな部分

になろうかと思えます。ただ、具体的に何に取り組んでいくのかということについてはこれからということです。具体的な取組についてはこの長期ビジョンに基づいて作成するアクションプランの中で位置づけられてくるであろうということで、現時点では具体的にお示しすることができないという状況でございます。

重点施策推進プロジェクトでございますけれども、現在の総合計画のまちづくり分野は5つございます。「しごと」、「暮らし」、「人づくり」、「地域づくり」、「行政経営」の5つの分野を縦の軸と考えていただいて、また、重点戦略というものも現計画にありまして、「人口減少対策」、「市街地の再生」、「交流人口の拡大」、「防災力の強化」この4つを横串というふうに捉えていただくと、政策は分野別で取り組んできていますが、その政策の分野を飛び越えて連携して取り組むということです。次期総合計画長期ビジョンの重点施策推進プロジェクトはこのような政策の分野を超えて取り組むことを想定しております。

城守委員 交通安全母の会の城守友子と申します。計画構成を見させていただきましたが、素敵な流れかなと私は思っています。一番はやっぱり計画とSDGs、ここがやっぱり今の社会に準じた流れだなと思いました。あと市民の皆さんによるアンケートとか市民の声を聞くというのはすごいポイントじゃないかなと思っていました。これからも続けていただきたいと思えます。

ネックに思ったのは、皆さんがおっしゃるように人口の減少と少子高齢化が一番だと思います。私の地域も空き家が増えて、高齢者はとても元気ですけども、若い方々はどこかにいらっちゃって、季節のお盆やお正月にしかお家には戻ってこなくて、住んでいるのは高齢者2人とか1人でなんとか皆さんは暮らしていますが、いつかはみんないなくなって空き家だらけにうちの方はなるのかななんて思います。

それから、交通安全に関して活動とかしたいなと思っても、どこの地域も皆さん高齢になっていまして、若い方はお仕事や子育てで一生懸命ですし、何か活動するには本当に70歳過ぎたような人たちで、活動できなくなってきました、交通安全のパトロールとかもいつまでできるのかなという不安もすごくあります。

それから何かの集まりで外国人も増え、元々の人は少なくなっているのに外国人は増えているのかなんて質問がありましたが、実際はいかがでしょうか。そこだけです。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 はい。外国人の数のお話ですけれども、具体的な数字は今手元にないのですが、増えております。令和4年の速報ですと、国・地域別で一番多かったのがミャンマーからの方でございます。

佐藤良介委員 花巻市商店街振興組合協議会の佐藤です。よろしくお願いいたします。主要テーマということで人口減少対策が掲載されておりますけれども、まちづくりの視点についてお聞きしたいと思いますが、現在の計画では主要指標の見通しということで、人口と産業構造と分かれておりました。今回は人口の見通しの項目が出ているわけですが、この辺の流れについてちょっとお話をいただければなと思います。産業構造についても当然現れてくるわけですね。

村田総合計画策定室次長 はい。ありがとうございます。今回の骨子の中で第3章のまちづくりの視点というところでのお話ということでございまして、第3章の中では人口減少に対する取組、重点施策推進プロジェクトにも関連したことで、人口見通しを指標として掲載する予定でございます。現在の計画では今ご指摘がございましたように産業構造の指標も掲載しているところでございますが、こちらに関してもやはり政策を組み立てていく上では重要なデータということでございまして、こちらに関しては資料No.2の2ページの方で申しますと参考資料の方にはなりますけれども、市の主な統計データというところに掲載する予定にしてございまして、その中で政策に関わる各種のデータという形でお出ししていきたく考えているところでございます。

佐藤良介委員 この人口見通しの中では産業構造については触れられていないということでもよろしいですか。

村田総合計画策定室次長 はい。現時点ではこちらのまちづくりの視点という章の中では産業構造に関するデータについては掲載を予定していないという考え方になってございます。

佐藤良介委員 先ほどの農業人口が減少しているという話もございましたし、産業構造も大事な指標じゃないのかなと思っておりますが、その辺はいかがでしょうか。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 はい。いただいた意見を参考とさせていただきますまして、これから長期ビジョンの骨子案を作るに当たりまして検討させていただきたいと思っております。

伊藤澄枝副会長 副会長をしております伊藤と申します。よろしくお願ひします。本当にこの年度末の大変なときにこのような資料の作成と会議の開催本当にお疲れ様でございます。私はワークショップの方に参加させていただいたのですけれども、参加

する方は熱い思いとか興味のある方が多いわけですが、参加されていない市民の方は本当に今ひとつ興味がないのか、PRが足りないのかなってところもワークショップをやっていること自体もちょっと知らないってということもあるので、PRが必要なのかなというふうにも思われます。

コロナ禍から少しずつは戻ってきていますが、やっぱりコロナの前ぐらいに戻るかっていうのはすごく不安なところもあって、地域でもお茶飲みとかサロンとかも声かけてくる方はいるけれども、なんか来なくなっちゃったらもう、声かけてもなかなか参加するのに時間がかかるっていうふうなことで、そこも悩みの種でございます。

まちづくり総合計画を知っているかっていうアンケート、言葉が難しくて、市では子育てにこんなふうに頑張る計画を立てているよ、とかであれば多分一般の方もそういうことだったら聞いたことがあるとか、そういうわかりやすい言葉だったら、きっともうちょっと「知っている」ところに数字が上がるのではないかなと思うんですけど、総合計画って言っちゃうと果たしてこのしごと・暮らし・人づくり・地域づくりとかっていうことが、次に何を企画しているんだろうっていう、ちょっと難しい方もいるのかなっていうふうに思われるところもあります。達成状況が例えば90%というのと、90%だから素晴らしいって思うのか、残りの10%もちょっと掘り下げて具体的に問題・課題を把握するかっていう、そこのところも必要になってくるんじゃないかと思しますので、それぞれの担当のところでも腰を下ろして具体的な計画を立てているかとは思いますが、今もその具体的な取り組みについてのところを期待したいなっていうふうに思っております。以上でございます。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 はい、ありがとうございます。改めましてワークショップに参加いただきましてありがとうございます。一般部門のワークショップの参加者について、現計画策定の際には公募委員を希望される方の手挙げ方式によるものでした。ですが、残念ながら計画があるけど中身を知らないとか、計画があることも知らないという市民の方が多いであろうとの想定の中、今回、一般部門のワークショップにつきましては、初めて無作為抽出させていただいたうえで希望される方に参加いただいたところでした。興味のない方にも、総合計画とはこういうもの、市民生活に繋がっていることをわかっていただきたいという取組でございます。

今後におきましても、この「案」がとれて骨子ができて、その後に長期ビジョンの素案ができるわけでございます。その後、令和6年度からの前期4年間に具体的に取組むアクションプランを作っていくということでございますので、その節目節目で

ご意見をいただく、また、諮問・答申等という形でお願いすることとなります。そして、委員の皆様方をお願いしたいのは、総合計画の策定作業が進んでいること等について、ほかの方々にも広めていただければというふうに思っております。

川村厚会長 一通り一言ずつお願いしましたが、まだ話し足りない人はございませんか。

小笠原委員 骨子の構成（案）のところですけども、まちづくりの視点で本市を取り巻く社会情勢に3つ挙げられています、佐藤良介委員からお話あったような、例えば産業構造の変化とか、そういうところの文章を、本市を取り巻く社会情勢に入れなくていいのかなと思いました。この3つの菱形の部分で網羅できているんだろうかなと個人的に今感想を持ちましたので発言しました。もう少し社会福祉を取り巻く情勢もチェックできたらいいかなと思った次第です。以上です。

富澤秘書政策課長兼総合計画策定室長 ありがとうございます。先ほどの佐藤良介委員からのご意見とともに検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

川村厚会長 それではよろしいですか。皆さんからご意見いただきました。市当局におかれましては、ただいまの意見を検討していただき、それでは本日の案件は以上となります。皆様ありがとうございました。

鈴木地域づくり課長 川村会長並びに委員の皆様大変ありがとうございました。以上をもちまして令和4年度第2回花巻市地域自治推進委員会を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。